



市の花「チューリップ」

にいがた市議会だより

新しい「目」で、
新しい「心」で、
新しい「新潟市」



第85号

発行:新潟市議会 編集:新潟市議会広報委員会 〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602番地1 ☎025-226-3385

平成31年(2019年)4月21日
(年4回発行)

2月定例会

平成31年度一般会計予算 3922億円を可決

▼平成31年2月定例会は、2月19日から3月25日までの35日間の会期で開かれました。

▼財政の早期健全化など、これまで以上に財政改革を徹底するため、総合計画「にいがた未来ビジョン」の3つの都市像に掲げた取り組みを推進し、未来に向かって活力ある新潟市を実現するよう編成された平成31年度予算を可決しました。

▼手話は言語であるとの認識に基づき、手話を日常的に使用できる環境を整え、全ての人が心を通わせ、さらなる共生社会を実現することを目指し、委員会提案による政策条例「新潟市手話言語条例」を全会一致で可決しました。



開港当時の税関の建物として開港5港の中で唯一現存する旧新潟税関庁舎。昨年11月に耐震補強等を完了し、開港150周年を迎えた本年1月にリニューアルオープンしました。

第13回 議会報告会の開催結果

議会報告会を1月26日、27日に市内8区で開催しました。
今回は、各区の農業従事者の方などと、第1部で「12月定例会の審議概要」「農業に関する決算特別委員会の審議概要および主要施策」について議会報告を行い、第2部で「農業～これからの農業の活性化のために～」をテーマに意見交換を行いました。参加者の皆さんからは農業への補助金や支援、後継者・担い手不足、農業施策の方向性などに関してさまざまなご意見を頂きました。
頂いたご意見などは、今後の議会審議に生かしていきます。
詳細は市議会ホームページに掲載している他、市政情報室(市役所本館1階)、各区役所の行政情報コーナーでもご覧いただけます。



第1部の議会報告の様子(南区)



第2部の意見交換の様子(西蒲区)

開催日	開催区	参加者数	参加者 (下記JA管轄内の 農業従事者の方など)
1月26日	北区	26人	JA新潟市
	東区	25人	
	中央区	19人	
	江南区	20人	
1月27日	秋葉区	21人	JA新津さつき
	南区	21人	JA新潟みらい
	西区	31人	
	西蒲区	29人	JA越後中央

2月定例会の経過

月日	会議名	会議の主な内容
2月19日	本会議	平成30年度分市長提出議案の説明 平成31年度分市長提出議案の説明、人事案件に同意
2月20日	常任委員会	平成30年度分議案の審査、採決
2月21日	本会議	各常任委員長による審査結果の報告 平成30年度分議案採決
2月22日	全員協議会	新年度(平成31年度)議案勉強会
2月25日、26日	本会議	代表質問(7人)
3月4日	本会議	議員提出議案の説明・採決 一般質問(3人)
3月5日、6日	本会議	一般質問(10人)
3月7日	本会議	一般質問(4人) 平成31年度分市長提出追加議案の説明
3月8日～18日	常任委員会	平成31年度分議案および請願・陳情の審査、採決
3月19日	特別委員会	付議事項の調査・研究
3月22日	本会議	委員会提出議案の説明、採決 各特別委員長による調査・研究の中間報告 各常任委員長による審査結果の報告、討論 平成31年度分議案など採決 議員提出議案の説明、採決

可決された主な議案

■新潟市手話言語条例の制定について

手話が言語であるとの認識に基づき、手話への理解および手話の普及に関する基本理念を定め、手話が必要とする人が手話を使用しやすい環境を構築し、全ての市民が共に生きる地域社会の実現に寄与することを目的として制定しました。

■平成31年度予算

平成31年度の一般会計・特別会計・企業会計別の当初予算は次のとおりです。

会計名	平成31年度	平成30年度	増減率
一般会計	3,922億円	3,802億円	3.2%
特別会計(8会計)	2,372億円	2,341億円	1.4%
企業会計(3会計)	1,258億円	1,265億円	▲0.6%

代表質問の要旨

各会派の代表7人が、市長・教育長・水道事業管理者に対し、施政方針などを問う代表質問を行いました。質問項目は主なものを掲載しています。問の末尾にかっこ書きの記載がない回答は、全て市長答弁です。

保守市民クラブ

水澤 仁



新年度予算編成と新たな拠点化施策

市長として初めての新年度予算編成では、どのような思いで査定に当たったのか。また新市長としてカラーを出した部分や特に力を入れた重点事業について伺う。

活力ある新潟市に向けて取り組むことや基金積み増しを念頭に置いた。交流人口拡大、経済活性化

新市民クラブ

志田 常佳



新バスシステム見直しの進め方と学校施設の空調整備

新潟交通との運行事業協定は来年3月に終了し、次期協定についてはそれまでに開催される評価委員会の評価の結果、特に問題がない場合に協議するとしているが、委員会自体は非公開である。何らかの形で、透明で開かれた検討の場を設けて見直しを行うべきでは

日本共産党新潟市議会議員団

渡辺 有子



大企業などへの優遇税制廃止・縮小と地域生活交通の充実

消費税の10%への増税は、市民生活と地域経済に打撃を与える。社会保障費などの財源は消費税に頼らず、空前の利益を上げている大企業と富裕層への優遇税制にメスを入れるべきと考えるが見解は

社会保障経費が増大し続ける中、社会保障制度の維持・充実を

民主にいがた

加藤 大弥



こども医療費助成のさらなる拡充と高齢者のフレイル予防の推進

こども医療費の通院助成の対象を平成31年度から中学3年生まで拡大することは、市民の願いや期待に応えるもので評価するが、県内の他市町村のほとんどは高校3年生までを対象としているため、まだ不十分である。さらなる拡大に向けた認識を伺う。

新潟市政クラブ

金子 孝



児童虐待防止条例の制定と放射性物質を含む保管汚泥の処分

児童虐待が後を絶たず、通告児童数は、国全体では過去5年間で2・8倍となり、県では前年比で43・8%増加した。こうした中で東京都では児童虐待防止条例を制定する動きもあるが、本市の今後の取り組みはどうか。

条例は子どもを虐待から守る

新潟市公明党

小山 進



新年度予算の影響・効果と新潟駅周辺地域の整備

政府は2月の月例経済報告を発表し、14カ月連続で「緩やかに回復している」としたが、本市にとっては実感の乏しい景気拡大となっている。新年度予算がもたらす本市の経済や市民生活への影響と効果はどのようなものか伺う。

中小企業支援や航空機産業な

ために意義があるものと認識している。他都市の事例も参考に制定の必要性を含め検討していく。

平成23年の福島第一原子力発電所の事故による放射性物質を含む汚泥が本市の浄水場や取水場に保管されている。近隣住民に不安を与えるこの汚泥の早急な処分が望まれるが、現在の処分状況、見直しおよび費用負担について伺う。

1キログラム当たり200ベクレル以下の汚泥はセメント原材料として処分を続け、これを超え8000ベクレル以下の汚泥は平成31年度中に処分完了予定であり、費用は東京電力が賠償する。より高濃度の汚泥は引き続き指定廃棄物としての早期処分を国・県に要望していく。(水道事業管理者)

どの成長産業の育成で多様な働く場の創出と雇用の安定を図る他、新規航空路やクルーズ船の誘致、G20新潟農業大臣会合などを好機と捉えて誘客を促進し、交流人口の拡大と経済活性化につなげていく。また、こども医療費の通院助成の対象拡大などは、市民の安心に資すると思われる。

新潟駅周辺整備事業で計画通り整備する幹線道路は新潟鳥屋野線のみとし、他の路線は凍結または見直すとした。南北の市街地の一体化を図る大規模な再開発を誘発するためにも、凍結解除は欠かせないと考えるがどうか。

財政状況は厳しいが、事業着手を見送っていた区間の整備の必要性も、今後検討していきたい。

市民ネット
にいがた
竹内 功



新年度予算編成での公共施設再編と
柏崎刈羽原発再稼働問題

問 昨年11月の市長就任会見で、公共施設再編を巡り「スクラップをしたり、見直す必要があるものは少なくないと思う」と言及している。把握状況や見直すべきものを具体的な事例で示してほしい。

答 分析対象765施設のうち、利用が低く高コストの施設は19

一般質問の要旨

▼一般質問者は17人です。質問項目は主なものを掲載しています。
▼答の末尾にかっこ書きの記載がない答弁は全て市長答弁です。

国民健康保険料の独自減免と
児童虐待の悲劇を断ち切る対策を

平 あや子
(日本共産党新潟市議会議員団)

問 仙台市では国民健康保険法第77条を適用し、子どもがいる世帯を「特別な事情」と認定することで、子どもの保険料均等割を一律3割減額した。本市でも同条を活用し、子どもの均等割の負担軽減など独自の保険料減免制度を導入すべきと考えるがどうか。

答 国における子どもの均等割の在り方の議論の動向を注視しながら、国保事業の県単位化による事

5施設で、そのうちすでに老朽化が進んでいる施設は67施設ある。施設再編は市民と現状や課題を共有しつつ、ご意見を十分伺い、丁寧に説明しながら取り組んでいく。

問 政府は原発推進の姿勢を維持している。自民党所属の各級議員として活動してきた市長は市長選の約束の中で、柏崎刈羽原発再稼働は県の検証の後に安心・安全を最優先させるとしていたが、柏崎刈羽原発再稼働問題についての考えを伺う。

答 県の検証を見守り、安心・安全を最優先することを市長選で約束し、今も考えは変わらない。検証結果や検証過程で議論された情報を広く正しく市民にしっかり届けることが大切だと認識している。

務の統一化・標準化を進める中で、県や県内市町村と議論していく。

問 児童虐待の早期発見、早期対応を促進するため、保育園や幼稚園に通わず、市の健診なども受けていない小学校入学前の子どもへの訪問事業を早急に開始すべきと考えるがどうか。

答 本市では住民登録されている全ての児童の安全確認を行った。訪問事業については他都市の取り組みも参考に検討していく。

山潟地区における
コミュニティ施設の可能性

伊藤 健太郎
(新市民クラブ)

問 山潟中学校区の人口は約1万8千人で、中学校区の人口としては決して少なくない地域であるが、市内の中学校区の中で唯一、本市が設置したコミュニティ施設がな

い。山潟地区はコミュニティ活動も活発で、中学生による高齢者家庭へのごみ捨て支援や鳥屋野湯を守り、育む活動など市と歩みを共にした理想的な活動をしている。このような山潟地区においては、地域活動の拠点となるコミュニティ施設の必要性がとて高いと考えるが見解はどうか。



山潟地区コミュニティ協議会の雪かき活動の様子

答 山潟地区コミュニティ協議会から、豊富な地域活動に見合ったコミュニティ施設が確保されることで、さらなる活動の深化、活性化が見込まれると伺っている。引き続き、地域の思いや実態をしっかりと受け止めながら活動がさらに活発になるよう議論を深め、整備の是非も含め判断していきたい。

新潟地域の雇用・経済状況と
住宅火災および住宅内での事故対策

中山 均
(会派に属さない議員)

問 市長は有効求人倍率の上昇などから、雇用情勢は着実に改善へ進んでいると言いが、非正規雇用の実態や実質賃金の低下などを踏まえ、改めて働く人たちを取り巻く雇用・経済情勢の認識を伺う。

答 やむを得ず非正規の職に就いている人の割合は減少しており、雇用情勢は改善が進んでいると考えるが、景気回復を実感できる水準には至っていないと感じている。

問 この冬はあまり寒くなかったが多くの火災が発生した。また住宅内での事故も冬の入浴時のヒートショックによる死亡が多く、高齢化や高齢者の孤立化が関連していると考えられる。住宅火災やヒートショックなどの事故に対し多角的な分析と対策が必要ではないか。

答 ヒートショック
寒い温変健生、との
室、急激な脈をど、
浴、急激な脈をど、
い、急激な脈をど、
寒、急激な脈をど、
室、急激な脈をど、
浴、急激な脈をど、
い、急激な脈をど、
寒、急激な脈をど、

問 関係機関と連携を図りながら住宅からの出火防止をはじめ、高齢者への火災予防や入浴時などの事故防止の啓発に努めていく。

財政の安定確保と基金の積み立て

高橋 三義
(新市民クラブ)

問 平成31年度当初予算は前年度より120億円の増額となった。主な歳入として、本市の労働人口が減少する中、今まで伸びていない市税の増額や前年度比29.6%、66億円増額の市債を見込んでいる。これで本市の財政運営が安定に向かっていると言えるのか。また66億円増額となった市債の発行と5

億円の基金の積み立ては、借金の中から貯金をするようにも見える。予算は投資や市民サービスに活用し、繰越金から基金を積み立てるべきではないか。

答 市税の伸びは市民所得などの直近の情勢による。増加した市債は交付税措置などの有利な起債を活用している。(仮称)集中改革プランでの行財政改革で安定した財政基盤の構築に努めていきたい。基金の積み立ては年度末も考えられるが、積み増しへの明確な姿勢を示すため予算に計上している。

問 総合ハザードマップの活用推進とヘルプカード・マークの導入

松下 和子
(新潟市公明党)

問 総合ハザードマップは、自治会や自主防災会などの小さな単位で、豪雨対策や地震による津波対策に生かすなど、さまざまな取り組みに活用できると考えるが見解を伺う。

答 地域で防災訓練や避難計画を検討する際に活用してもらうため、出前講座や防災教育を継続して行い、防災士を対象に学習会などを実施して活用を進めていく。

問 平成29年9月定例会で、ヘルプカード・マークについては今後県と協議しながら普及に向けて検討したいと答弁があった。マークはすでに33都道府県が導入済みで、本市でも一日も早く導入してほしいが、その後の県との協議・検討の進捗状況について伺う。

答 ヘルプカードは本年度中に、ヘルプマークは来年度中にいずれも県が作成し、準備が整い次第、速やかに希望者に配布していく。

市民病院線の古町直通便新設と
新潟駅直下の車両通行

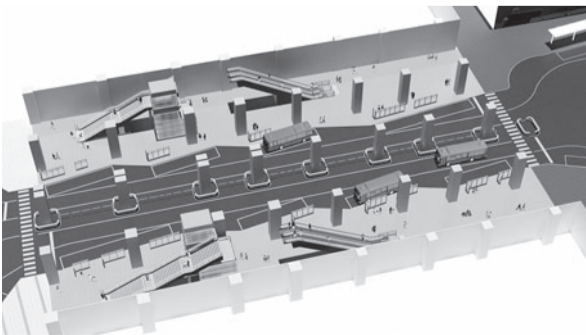
渡辺 均
(新市民クラブ)

問 市民病院線沿線の女池上山地区の住民から、BRT導入で区役所や多くの企業が集積する古町へ行くのに市役所前で乗り換えが非常に不便なため、直通便を求め2千筆以上の署名が本市と新潟交通に提出された。この署名の重みと路線新設について市長の考えは、

答 直通便の新設や増便は乗り換え負担軽減策の一つとして総合的な検討が必要であり、署名は市民の声としてしっかりと受け止め、新潟交通と協議を続けていく。

問 新潟駅周辺整備事業は、約1400億円を費やす大型事業であるにもかかわらず、駅直下は路線バスしか通行できない計画である。バス通行の無い夜間はタクシーや一般車の通行を考えてはどうか。

答 地域で防災訓練や避難計画を検討する際に活用してもらうため、出前講座や防災教育を継続して行い、防災士を対象に学習会などを実施して活用を進めていく。



新潟駅高架下交通広場整備イメージ(今後の検討・協議により変更の可能性あります)

答 バスの乗降を原則とし、緊急時は緊急車両を通行可能とするよう考えている。夜間などはタクシーの通行を検討していきたい。

(続いて4面に掲載)

街路樹管理計画の策定と学校の照度管理

志賀 泰雄

(新潟市公明党)

問 街並みの景観向上など街路樹の機能を効果的に発揮させるには、街路樹を健全に保つための定期的な管理が必要であり、他の自治体では街路樹管理計画を策定し体系的に管理している。本市でも、西区で行ったような街路樹管理計画を市として策定してはどうか。



新・日本街路樹百景に選ばれた北区のメタセコイア通り

答 モデル的に行った西区の取り組みは倒木などによる事故の未然防止に効果があるが、計画策定には独自の財源確保が必要で、国の支援などを注視しながら検討する。

問 学校の教室の照明などは、学校環境衛生基準で健康を保持する上で望ましい基準を定め点検を行っているが、現在の照度管理の領域だけでは基準を満たさない領域が生じるため、改善すべきでは。答 学校薬剤師が行う定期環境衛生検査の実施領域について、健康の保護といった趣旨を踏まえ、改善に向けて市薬剤師会と相談する。(教育長)

分権型政令市に向けた区事業拡充とシニア半わり制度の改善

田村 要介

(新市民クラブ)

問 分権型政令市を推進するため、

区主導で進める提案型の区づくり事業の枠を広げ、頑張る区、地域を応援してもらいたい。区の裁量や区民の声を一番聞いている区長の権限を広げ、区事業の規模を拡充すべきと考えるが市長の見解は。答 区民の声を最も聞いている。区長は「色んな提案を聞く」というスタンスで、区民の要望を伺う。区民の声は「色んな提案を聞く」というスタンスで、区民の要望を伺う。

問 区の事業予算の取りよせに「色んな提案を聞く」というスタンスで、区民の要望を伺う。答 区民の声を最も聞いている。

問 高齢者のバスでの新たなお出かけを促進するという事業目的に沿わない通勤などで高頻度利用している方々には、高齢者割引定期券へ移行を促すなど、今後とも新潟交通と共に広報していく。

学校教育によるひきこもり対策と教職員や子どもへの支援体制

山田 洋子

(保守市民クラブ)

問 本市のひきこもりの半数以上が40歳以上で社会的な損失が大きいが、不登校の児童・生徒が将来、全員ひきこもりになるわけではなく、ひきこもりを生まないためには学校教育の役割が大きいと考えるが、その取り組みを伺う。答 登校復帰に向けた具体的な支

援を組織的に行い、自立した子どもを育てたい。自己有用感を得られる取り組みを進めている。(教育長)

問 大阪府茨木市では教職員や子どもへの支援体制として、非常勤嘱託職員のスクールソーシャルワーカーやアドバイザーも含め本市より多い8人でチームを組み、何を指すかを明確にして活動し成果を上げているが、本市の状況は。答 本市のスクールソーシャルワーカーは派遣型で緊急時に対応している。子どもたちの人格形成には学校、教育委員会、保護者、地域がチームとなって取り組んでいる。(教育長)

問 中国駐新潟総領事館移転建設の影響と参議院議員当時の市長の発言

中国駐新潟総領事館移転建設の影響と参議院議員当時の市長の発言

深谷 成信

(保守市民クラブ)

問 大規模で象徴的ともいえる中国総領事館を本市中心部に建設する計画がある。小学校跡地への計画が反対運動で頓挫したため、中国側は同等規模の民有地を取得したと考えられ、現在、外務省は移転建設を認めていないが、仮に実現された場合に本市に及ぶ影響について、どのように考えているか。答 移転する総領事館の規模などが適当かどうかは国が判断すべきものと認識している。移転の場合には両政府間で計画内容が協議され適切な内容になると考えている。

問 市長は参議院議員当時の平成24年3月の委員会質疑で、新潟県としては中国総領事館の建設に反対するものではないと述べているが、この発言は何を意味するのかが、外交問題として国が判断した

のであれば、地方自治体から反対の意を示すことはできないという認識を述べたものと記憶している。

北区の飛砂被害と海岸侵食

南 まゆみ

(民主にいがた)

問 長年飛砂に悩まされている阿賀野川河口付近の松浜地区の住民から、市には毎年要望を上げているが、アキグミの植栽や飛砂防止ネットの設置は対症療法でしかない、もっと根本的な対応策を取るべきという声があるがどうか。



松浜海岸に設置された飛砂防止ネット

答 国が河口部に堆積した砂を掘削、除去する工事を行う予定と聞いている。本市としてはアキグミの植栽事業を継続し、今後も引き続き地元と国と情報共有し、飛砂防止対策に取り組んでいく。

問 松浜8丁目付近の住民は、海岸侵食で家を建てたときより砂浜が半分になったと心配している。平成27年にも管轄の県に陳情したが、侵食の現状や今後の見通しの地域への説明や説明文の配布などを市から県に求めてほしい。答 県に確認したところ、地元から要請があれば侵食の状況について報告をすることであった。

BRT・新バスシステム見直しと今後の交通政策

小野 清一郎

(保守市民クラブ)

問 市長選の候補の公約で、BRTは廃止し、連節バスを青山から国道8号を経由して燕三条駅まで走らせるというものがあった。南区では白根の中央と三条側を結ぶバスが無い。南区民にとって、とても気を引く政策だったと思う。今後の新潟中央環状道路の開通や国道460号の環状化などを見据え、公共交通によるさらなる結び付きを考えるときに、BRTの見直しを含めた新たな交通戦略を立てるべきと思うが、今後の交通政策について市長の見解は。答 現在見直しを進めている交通政策の新たなプランでは、各地域と都心を結ぶ「都心アクセスの強化」について既存の鉄道やバス路線の強化を行う中で、鉄道が無い地域は特にバスの強化に取り組む。また本市以外へのアクセスもネットワークの確保に向け、需要を確認しながら取り組んでいく。

問 現在見直しを進めている交通政策の新たなプランでは、各地域と都心を結ぶ「都心アクセスの強化」について既存の鉄道やバス路線の強化を行う中で、鉄道が無い地域は特にバスの強化に取り組む。また本市以外へのアクセスもネットワークの確保に向け、需要を確認しながら取り組んでいく。

問 東京電力との安全協定の見直しとBRT直通便の大幅な増便

東京電力との安全協定の見直しとBRT直通便の大幅な増便

五十嵐 完二

(日本共産党新潟市議会議員団)

問 柏崎刈羽原発の立地自治体と東京電力との安全協定には原発再稼働に関する事前協議の規定があるが、立地自治体を除く県内市町村との協定はない。市長は本市も原発事故が発生すると影響を受ける当事者との認識だが、本市との協定にも盛り込むべきでは。答 事前協議は一番影響のある立

地自治体と県が最優先されるべきで、協定を変更するまでには至らないと考える。引き続き他の市町村と意見交換を進めていきたい。

問 市民やバス利用者は直通便の大幅な増便を強く望んでおり、市長も市長選で増便を訴えていたが、3月のダイヤ改正では5便の増便にとどまった。直通便の大幅な増便が必要との認識はないのか。答 直通便増便は、乗り換え負担軽減策の一つとして総合的な検討が必要と考える。新潟交通と協議し可能な範囲で対応していきたい。

問 胃がんの内視鏡検査の隔年化と特別養護老人ホーム建て替えへの助成

飯塚 孝子

(日本共産党新潟市議会議員団)

問 市は平成31年度から50歳以上の胃がんの内視鏡検査を毎年から隔年(偶数年齢)実施に変更するとしていますが、市民は不安の声を送っている。事前説明がない中での実施は市民軽視ではないか。答 国の指針改正を受け、実施回数を変更するもので、その変更理由は委託医療機関の医師からの説明や市報などにより周知してきた。今後も事前に市民にしっかりと説明し理解いただけるよう努めていく。

問 昭和40～50年代に建設された特別養護老人ホームは建て替え時期を迎えているが、各施設では費用を自己資金のみで賄うことは困難である。県には補助金制度があるが本市は対象外であるため、市独自の老朽施設建て替え助成制度を創設すべきではないか。答 県や他都市の動向なども踏まえながら、支援制度の創設に向けて検討していく。

問 昭和40～50年代に建設された特別養護老人ホームは建て替え時期を迎えているが、各施設では費用を自己資金のみで賄うことは困難である。県には補助金制度があるが本市は対象外であるため、市独自の老朽施設建て替え助成制度を創設すべきではないか。答 県や他都市の動向なども踏まえながら、支援制度の創設に向けて検討していく。

海岸保安林整備への基金の活用と ひまわりクラブのおやつ代

石附 幸子
(市民ネットにいがた)

問 海岸保安林整備を担う地域活動団体は、資金不足などの課題を抱えている。森林整備などを目的とする森林環境譲与税を基に平成31年度に創設される基金を、海岸保安林整備に使えるよう市が責任を持って支援してはどうか。

答 森林環境譲与税活用基金の有効な活用を地域活動団体のニーズを通じて検討していく中で、地域活動団体が活動しやすい制度を設計できるように考えていく。

問 ひまわりクラブのおやつ代などは子どもが持参しているが、トラブルが起きる恐れがあるため、指定管理者に可能な限り口座振替にするなどの対応をお願いしていると言いが、市が利用料と併せ口座振替で一括徴収してはどうか。

答 各クラブで状況が異なり、金額が一律ではないなど課題が多くあるが、どのような方策が良いか指定管理者とも意見交換していく。

健幸すまいリフォーム助成事業と 子育て支援の姿勢

倉茂 政樹
(日本共産党新潟市議会議員団)

問 健幸すまいリフォーム助成事業は、毎年要件や上限額を変えずに地域経済活性化策として腰を据えて取り組み、予算の増額、要件緩和・拡充など、市民や業者が喜べる施策にするべきではないか。

答 これまでも事業実績などにより見直してきたが、今後も財政状況や社会経済情勢の変化などを注

視しながら検討していきたい。

問 平成30年度は8月に市立幼稚園再編実施計画、10月に市立保育園配置計画と、矢継ぎ早に出された。幼稚園は五つの閉園を計画し、保育園は統廃合・民営化を基本としており、子育て安心のメッセージが市民に伝わらない。子育て支援の公の責任をどう果たすのか。

答 子育て環境の向上などを目的とするこれらの計画を着実に進め、市全体の教育・保育の質の向上に資する機能を強化することが公の責務であると認識している。

拠点都市・新潟の解釈と (仮称)江南駅の調査と成果

串田 修平
(新潟市政クラブ)

問 全国とつながる、世界とつながる拠点都市・新潟をつくるというが、一口に拠点化といっても鉄道、道路などの陸上交通網の整備や空港、港の整備などによる拠点化、産業、防災、農業、福祉、教育の拠点化などいろいろある。市長の拠点都市の解釈について伺う。

答 新潟駅周辺整備などによる拠点性の向上や交流人口拡大、経済活性化などの取り組みを加速させ、全国や世界とのつながりを強化し、活力ある新潟市を築いていく。

問 (仮称)江南駅の建設は、旧横越町の合併建設計画から、江南区ビジョンに引き継がれている。平成30年度に新駅調査費が計上され、利用予測調査が行われたが、その取り組みと成果について伺う。

答 周辺の既成市街地や開発計画を踏まえた新駅設置による新たな需要予測の調査を行い、平成30年度内に取りまとめる予定である。

各特別委員会中間報告の要旨

各特別委員会の中間報告が3月22日の本会議で行われました。この報告の要旨を掲載します。

●大都市行財政制度調査特別委員会

行財政改革を進めているが、財政状況は悪化しており、原因究明と適正な対策を市民の理解を得ながら早急に実行すべきである。合併で膨れた資産の有効利用や制度の見直しなどが重要と考える。利用度の低い施設の見直しや用地売却により、施設の維持管理費の削減や売却収入を確保することに加え、民間による土地の有効利用で地域活性化を促すことを求める。

区の在り方、総合区の導入の検討について、本市は広域合併前から「分権型行政令市」「大きな区役所小さな市役所」を掲げ、区役所が果たす地域活性化の役割が大きいことから、議会や各区自治協議会でも、メリットの有無や、住民意見の聴取方法などを研究、検討し、慎重に議論を重ねる必要がある。

総合区の検討は、特にまちづくりや拠点性強化について議論を深めることが重要である。

●農業活性化調査特別委員会

全国各地で農業の持続可能性が議論になっている。就農者をどう増やすか、育てるかは大きな課題である。後継者対策として、家族農業における親元就農にもっと光を当てるべきではないか。

政府は平成30年産から米の生産調整を廃止した。本市の農業の土台である米をしっかり支える基本

姿勢が必要であり、土台をしっかりと構築してこそ上層である園芸作物が安定する。

本市の現状を見ると、中小規模の農家が多く、農業経営のみで生計を担える農家は少ない。就農者の高齢化、後継者不足への取り組み改善が必要な状況である。本市において農業は重要な基幹産業であるにもかかわらず、就農者の減少が懸念される。中小営農者に対して、より具体的な支援や対策が重要であり、生産者と消費者とのつながりを強める必要もある。

●少子化調査特別委員会

出会い、結婚について、社会全体でも親身に取り組む姿勢が薄れており、公的な支援を通じて結婚へのブローグの意識を変革することが必要である。

妊娠前から産後までの寄り添いケアの取り組みに対する支援策はさらに充実させなければならない。切れ目のない支援を充実させ、それぞれの段階での取り組みが大事故だが「子ども」をキーワードに崇高な理念を持ち、取り組みなければならぬ。

若者が地方に定着するには、魅力的な産業や事業所を地方に分散させる政策が必要である。地方の中小企業の多忙化解消、ワーク・ライフ・バランスのさらなる取り組み強化も必要である。

●観光交流促進調査特別委員会

西蒲区のわらアートは地域と武蔵野美術大学の共同の取り組みで、事業費が少なくても市内外から多くの観光客が来場し、本市の大きな観光資源になっていることから他の区でも参考にすべきである。

本市は豊かな海産物や四季折々の農産物に恵まれ、自慢の郷土料理や酒があるため、本市でしか味わえない名物料理のPRや売り込みに取り組むよう望む。また新潟漆器、白根仏壇、亀田織、小須戸縞などの常設展示、販売、実演や体験を集約した仕組みがないため、関係団体と検討すべきである。観光行政においては、トータルプロデュースができる情熱のあるキーパーソンの存在が欠かせない。

請願・陳情の審査結果

▼採択

●請願第15号
放課後児童クラブと児童館が併設されている施設の設置について(第1項および第2項)

●陳情第208号
市営住宅における入居者管理について(第1項および第2項)

●陳情第220号
子どもたちに行き届いた教育を、30人以下学級実現、教職員定数増、教育予算増額を求めることについて(第1項から第4項)

●陳情第132号
秋葉区矢代田駅周辺地区土地区画整理事業について

●陳情第157号
新潟駅南口広場において条例で禁止行為とされているスケートボードに関することについて(第2項)

●陳情第188号
韓国蔚山市における慰安婦像設置について

●陳情第197号
新潟市アイスアリーナの利用料の軽減を求めることについて(第1項から第3項)

●陳情第210号
市民の無料法律相談における弁護士との委託契約の遵守を求めることについて

●陳情第211号
最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出について

●陳情第212号
長時間労働もハラスメントもない人間的に働き方の実現を求

める意見書の提出について

●陳情第213号
会計年度任用職員制度施行に伴う臨時・非常勤職員の地位・待遇改善を求める意見書の提出について

●陳情第214号
未納道路占用料等、市の債権管理の適正な処理を求めることについて(第1項および第2項)

●陳情第215号
公報等を文書で市政情報室に設置することについて(第1項から第3項)

●陳情第217号
秋葉区矢代田駅周辺地区土地区画整理事業の陳情の処理について

●陳情第218号
市民厚生常任委員会における市民病院側の不誠実な答弁の改善を求めることについて

●陳情第219号
秋葉区山の手地区住民バスの社会実験の中止を求めることについて

●陳情第221号
農業用施設の管理に係る旧木崎郷土地改良区(横土居地域)、頓所富士弥理事及青柳廣吉理事長による「覚書」について

●陳情第222号
生活保護基準の引き下げ中止を求める意見書の提出について

●陳情第223号
新潟市の1兆30億円の莫大な借金を減らし財政の健全化を図ることについて(第1項および第2項)

●陳情第224号
高過ぎる国民健康保険料の引き下げを求めることについて(第1項および第2項)

議案とその結果

【市長提出(平成30年度分)】

Table with 3 columns: 議案番号, 件名, 結果. Lists 14 items from 第150号 to 第164号.

Table with 3 columns: 議案番号, 件名, 結果. Lists 14 items from 第29号 to 第42号.

【市長提出(平成31年度分)】

Table with 3 columns: 議案番号, 件名, 結果. Lists 28 items from 第1号 to 第28号.

【委員会提出】

Table with 3 columns: 議案番号, 件名, 結果. Lists 1 item: 第2号.

【議員提出】

Table with 3 columns: 議案番号, 件名, 結果. Lists 2 items: 第60号, 第61号.

人事案件

Large table listing names of committee members and staff across various departments like 教育委員会, 農業委員会, etc.

各会派の賛否状況や議案の内容を市議会ホームページに掲載しています。下記URLまたは右記のQRコードからアクセスしてご覧ください。 URL: http://www.city.niigata.lg.jp/shigikai/index_honkaigi/honkaigi_kekka/index.html